

平成30年8月金子医院月報

7月は異常気象、猛暑が続き、食欲不振、不眠、熱中症など、この時期特有の症状を訴える患者さんが多く来院されました。さすがに日中35度くらいになると、何もできなくなります。東南アジアの人たちは、昼休みになると、3時間くらい仕事に帰ってこないという話を聞いたことがあります。初めてなるほどと納得しました。このまま温暖化が進行すると、猛暑や集中豪雨のため、夏の高校野球は危険で行われなくなるのかなとか、夏の祭りなどのイベントも中止になっていくのかな、などと考えてしまいます。地球規模で環境問題に真剣に取り組まなければならないタイミングであるのでしょうか。さもなくば、相当生活スタイルを変えていかなければならなくなりそうです。

熱中症は、発汗等により、体の水分とナトリウムなどの電解質が失われることにより引き起こされます。初期ではめまいや立ち眩み、筋肉のけいれんという症状です。この段階であれば、診療所レベルでも引き受けられますが、さらに水分や電解質喪失が進み、嘔吐、頭痛、虚脱感などの熱疲労の状態、さらに意識障害、けいれん 高体温という熱射病の段階になると病院搬送、集中治療が必要になります。早めの判断と対応をお願いしたいと思います。ご高齢の方は、暑さを感じにくかったり、のどの渇き等脱水状態を感じにくいため、室内においてさえも熱中症となるケースが多々あります。周囲のサポートが必要です。糖尿病の方は、潜在的に脱水状態にあると思われる。熱中症になりやすい状況にありますので、注意して過ごしてください。



7月から、当院でも予約診療を開始しております。近く on-line の予約診療システムを開始することとなります。当面、予約診療と通常診療併用で行いますが、予約の方が優先となることがあります。ご理解のほどよろしくお願いいたします。

8月14(火), 15日(水)に夏季休暇を取らせていただきます。8月31日(金)から9月4日(火)所用にてヨーロッパに出かけるため、休診とさせていただきます。
大変ご迷惑をおかけいたしますが、よろしくお願いいたします。